6月から順次開講します。
多彩な講師陣が皆さまを
お待ちしています。

要申込
参加無料

市民の皆さまにも
分かりやすい講義内容です。
お気軽にご参加ください。

2025

公立小松大学
Komatsu University

市民公開講座
Open UniverCity

受講生大募集

Enjoy Learning!

私が講師のアインシュタイン…
ではなく学長です。
楽しく学びを深めましょう!

どなたでもご参加いただけます。

小松市

KOMATSU UNIVERSITY

6 英会話カフェ & 中国語カフェ
世界へのトビラを拓こう

留学生を含む学生と市民が、小松の文化や歴史、食、自然などをテーマに、アクティビティを交えた異文化体験交流を通し、楽しく語学を学びます。

英会話カフェ ※参加費 1回500円

小松市国際交流協会と共催で、英語での会話練習を行います。
講師は、小松市国際交流員や小松市内の学校で働くALTです。

申し込みはこちら »

開催日時 毎月 2回 平日 18:30-20:00
募集人数 各回10人
申込締切 毎月
会場 松雲堂他
コーディネート 小松市国際交流協会

中国語カフェ ※材料費等をご負担いただきます。

公立小松大学の教員や留学生とともに、中国語での会話練習を行います。

申し込みはこちら »

開催日時 毎月 2回 平日 16:30-18:00
募集人数 各回10人
申込締切 毎月
会場 中央キャンパス他

講師 公立小松大学国際文化交流学部
国際文化交流学科 准教授
橋本 貴子 Takako Hashimoto

profile
専門は中国語音韻史研究。熊本県出身。神戸市外国語大学外国語学専攻博士課程文化交流専攻単位取得満期退学。博士(文学・神戸市外国語大学)。神戸市外国語大学外国学研究所客員研究員を経て2022年より現職。趣味は散歩と旅行。

講師 公立小松大学国際文化交流学部
国際文化交流学科 講師
単 艾婷 Aiting Shan

profile
専門は言語学・中国語教育。中国・江蘇省生まれ。九州大学大学院博士課程修了後、九州大学特別研究者、西南学院大学助教を経て2024年より現職。趣味は読書とパンダの動画鑑賞。

公立小松大学 中央キャンパス
〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10
こまつアズスクエア2・3階

公立小松大学 中央第2キャンパス
※2025年秋開設予定
〒923-0868 石川県小松市日の出町1丁目100番
ウレシャス小松4階

ジャパン九谷のふるさと「松雲堂」
〒923-0926 石川県小松市龍助町27番地

石川県小松市團十郎芸術劇場うらら
〒923-0921 石川県小松市土居原町710番地

JR・IR小松駅からすぐ。車でお越しの方は
駅周辺の市営駐車場をご利用ください。

KOMATSU UNIVERSITY
お問い合わせ先
公立小松大学事務局総務課
TEL:0761-23-6600
FAX:0761-48-3248
Email:soumu@komatsu-u.ac.jp

公立小松大学
Komatsu University

市民公開講座
Open UniverCity

公立小松大学市民公開講座では、地域に開かれた学びの場として、多様なテーマで講座を開講します。大学で行われている学術の研究成果や専門的な知識を分かりやすくお伝えし、市民の皆様が新たな視点を得る機会となることを目指しています。
本講座は、どなたでも参加可能です。知的好奇心を刺激し、新たな発見を楽しむ場として、皆様のご参加をお待ちしております。

※講座の詳細は公立小松大学ホームページからご確認ください（各講座開講1カ月前に公開予定）。
※講座ごとにお申込みいただく形となります。各講座の申し込みフォーム（二次元コード）からご予約ください。

1 New 公立小松大学 アカデミックリーダーズセミナー（全6回）

申し込みはこちら »

理事長・学長・副学長・学長補佐による6回シリーズの特別講座です。
文理の垣根を超え、様々な角度から楽しく考察します。

開催日時 8月～9月 6回シリーズ 14:00-15:30
会　場 中央キャンパス
募集人数 各回50人
申込締切 7月末日

1 8月2日(土)

講演テーマ
理事長の雑学
①歌舞伎を楽しむ

講師 公立小松大学　理事長
石田 寛人 Hiroto Ishida

● 講演要旨
歌舞伎は、長い間にわたる先人の叡智の集積であり、この世を生きる人間の楽しさと苦しさ、喜びと悲しみが集約されていて、実に学ぶところの多い演劇と思っています。歌舞伎で最も愛好されている「仮名手本忠臣蔵」（今年のお旅祭りで龍助町が上演した演目『土屋主税』は、これに関連する芝居です）と、小松での出来事を題材にしながら、全国的に人気の高い「勧進帳」を取り上げて、歌舞伎の醍醐味をみなさんとともに味わいたいと思います。

profile
1941年東京生まれ。1964年東京大学工学部原子力工学科卒業。同年科学技術庁入庁。在米大使館参事官、原子力局長等を経て1995年事務次官。1999年駐チェコ日本国大使。2003年退官後、東京大学客員教授、金沢学院大学学長を務め2018年より現職。前田育徳会理事長、関東大小松会会長、石川県人会会長(全国連合会長兼務)を務める。

2 8月9日(土)

講演テーマ
北陸の医の歴史

講師 公立小松大学　学長
山本　博 Hiroshi Yamamoto

● 講演要旨
医学はインドや中国で起こり、海を渡って日本へ。わが国で最初に病院をつくったのは聖徳太子。薬局に相当する「施薬院（やくいん）」、貧しい人や身寄りのない人を救済する「悲田院」、修養を行う「敬田院」も太子によってつくられました。幕末までは漢方が主流でしたが、種痘の伝来とともにオランダ医学が普及。明治に入るとドイツ医学が導入されましたが、第一次世界大戦でドイツが敗れると日本の医学はやや混迷。そんな中、「世界の金沢医学」を唱え、日本医学を領導した一人が小松市出身の岡本肇先生でした。本講演では、このような医学の歴史を紹介します。

profile
1949年石川県小松市生まれ。高校生の頃は文学、音楽の道を志望していたが、自分には力が及ばないと感じ、比較的面白そうに見えた医学の道に進む。医者として尽力するものの、がん患者を治せぬまま見送らなければならなかった無力感から研究の道に入る。

3 8月23日(土)

講演テーマ
支えあい社会を実現する
ピア・サポート

講師 公立小松大学　副学長
志村　恵 Megumi Shimura

● 講演要旨
「ピア」は、英語のペアと同根の語源を持ち、「同じような」「等しい」という意味で、「ピア・サポート」とは、同じ立場の人同士による支え合いの活動を表します。ピア・サポートは、世界中で行われ、日本でも障がいのある方々や難病の方々、あるいは学校などで、いろいろなかたちで実践されています。今回は、ドイツで行われている外国ルーツの市民によるピア・サポート活動と、多胎家庭支援でなされているピア・サポート活動を紹介しながら、支え合う社会について共に考えたいと思います。

profile
1957年高知県生まれ。名古屋大学とドイツ・ミュンヘン大学で学ぶ。2024年4月より当大学勤務。専門はドイツ学、キリスト教学、多胎家庭支援研究。現在は、外国をルーツに持つ市民によるピア・サポート活動や多胎家庭のピア・サポートの実践的研究を行う。

4 8月30日(土)

講演テーマ
地球システムと
地熱エネルギー

講師 公立小松大学　副学長兼研究科長
木村 繁男 Shigeo Kimura

● 講演要旨
純国産のエネルギーである地熱エネルギーは、再生可能エネルギーの一つであり、その賦存量はアメリカ、インドネシアに次いで世界第3位といわれています。そのエネルギーを100%利用すれば、日本の電力の30%を賄うことができるが、地熱発電が占める割合は、国内全発電量のわずか0.3%。さらに、この数値は過去30年間ほとんど変化していません。国はこれを1%にするという目標を設定しましたが、その実現はまだ不透明な状況です。ここでは、地球の構造と地熱エネルギーの起源について説明し、その利用の現状と今後の可能性や課題を紹介します。

profile
機械工学専攻において、「浮力による流動現象」（自然対流）に関する研究で学位取得後、UCLAの地球・惑星科学科でPostdocの経験を持つ。その時に耳にしたマントル対流や大気・海洋などの流動解析に触発される。産業技術総合研究所と金沢大学で地熱開発を研究に携わり、当大学では「地球環境と環境流体」などの授業を担当。

5 9月6日(土)

講演テーマ
スポーツ現場で本当にあった
（タメになる）怖い話
－健康心理学・犯罪心理学の視点からの解説と教訓－

講師 公立小松大学　学長補佐
（研究担当）
髙木 祐介 Yusuke Takagi

● 講演要旨
スポーツは、明るく、元気になれる話題が多いです。その一方で、指導者による心理的支配、ドーピング、摂食障害、山での遭難など、人々に不安や恐怖を与えるような事例も多数あります。それらは、「知識があれば」「勇気があれば」「誰かとつながっていれば」防げたものばかりです。本講演では、一人で抱え込まず、誰かに相談して選択肢を広げることの大切さについて、健康心理学と犯罪心理学の視点から解説・提案します。スポーツを楽しく、嬉しく続けていくために、皆さんと一緒に教訓を学びたいと思っています。

profile
静岡県浜松市生まれ。東京学芸大学卒業。広島大学大学院、川崎医療福祉大学大学院、日本学術振興会特別研究員を経て現職。博士号（健康科学）、公認心理師、教員免許（保健体育・社会・家庭）を保有。研究テーマは身体活動時にみられる喘息発作・熱中症・自覚症状や急性高山病等の予防、アスリートへの食育指導、健康心理相談。

6 9月20日(土)

講演テーマ
映画研究入門
－映画経験を豊かに

講師 公立小松大学　学長補佐
（教育・国際交流担当）
小原 文衛 Bunei Kohara

● 講演要旨
「映画研究」は、そもそも学問として成立するのかと問いたくなる方もおられるかと思いますが、本講座では、娯楽・アトラクションでもある映画を真面目に研究する「映画研究」という学問の基礎的な考え方を紹介します。映画研究によって、どのようなことが明らかになるのかを示し、映画研究が持つ学術的な意義を探ります。この研究を知ることで、少しでも皆様の映画経験が豊かになればと願います。

profile
専門は映画研究。金沢大学大学院人間社会環境研究科にて博士（文学）取得。当大学国際文化交流学部にて映画研究、英語の教育に携わる。アメリカ映画を主たる対象として、映画史、映像理論、映画の精神分析などの研究。近年は『ゴジラ』（1954年）のアメリカ社会・文化における受容問題を映像・視覚理論の立場から考察する。

2 New 国際交流センターセミナー 地域社会の国際化

申し込みはこちら »

地域社会の国際化をテーマに、国際交流センター所属の教員及び海外協定校等教員らが、グローバルな視点で、新たな可能性を探ります。

開催日時 6月15日(日) 1回 14:00-16:00
会場 石川県小松市團十郎芸術劇場うららら
募集人数 200人
申込締切 6月上旬

講演テーマ
小松大学の海外研修やボランティア活動を通じた国際交流

講師 公立小松大学 副学長
志村 恵 Megumi Shimura

profile
1957年高知県生まれ。名古屋大学とドイツ・ミュンヘン大学で学ぶ。2024年4月より当大学勤務。専門はドイツ学、キリスト教学、多胎家庭支援研究。現在は、外国をルーツに持つ市民によるピア・サポート活動や多胎家庭のピア・サポートの実践的研究を行う。

講演テーマ
アメリカの田舎に行ってみよう!

講師 オースティンピー州立大学 教授
広野 達 Tatsushi Hirono

profile
研究分野は、スピリチュアリティとソーシャルワーク、自殺予防、自然災害後の希望回復における宗教指導者の役割。アメリカと日本の聖職者の視点を比較し、異なる文化の下で災害時の対応が、どのように異なるかについての研究も行う。

講演テーマ
大学国際化のアップデート －その変遷と未来－

講師 公立小松大学サステイナブルシステム科学研究科
グローカル文化学専攻博士前期課程2年
上林 あい Ai Kamibayashi

profile
専門は高等教育学。金沢大学人間社会学域国際学類学士課程卒業。大学職員として、大学の国際交流に携わるとともに、公立小松大学大学院にて高等教育国際化の研究を行う。

ファシリテーター
公立小松大学 学長補佐
小原 文衛 Bunei Kohara

profile
専門は映画研究。金沢大学大学院人間社会環境研究科にて博士(文学)取得。当大学国際文化交流学部にて映画研究、英語の教育に携わる。アメリカ映画を主たる対象として、映画史、映像理論、映画の精神分析などの研究。近年は『ゴジラ』(1954年)のアメリカ社会・文化における受容問題を映像・視覚理論の立場から考察する。

3 次世代考古学研究センターセミナー 小松の石文化とマヤ文明遺産の研究最前線

申し込みはこちら »

次世代考古学研究センター所属の教員が小松の石文化や国内事例を中心に、その研究成果について発表します。

開催日時 10月~11月(予定) 4回 14:00-15:30
会場 中央キャンパス
募集人数 各回40人
申込締切 9月下旬

1 10月4日(土)

講演テーマ
文化遺産保護と3D考古学

講師 公立小松大学次世代考古学研究センター
特任准教授
野口 淳 Atsushi Noguchi

profile
専門は3D計測、南アジア考古学、旧石器考古学。日本考古学協会 理事、国立研究開発法人産業技術総合研究所 外来研究員。日本列島の関東平野南部～中部高地の後期旧石器時代や、西アジア、アラビア半島、南アジアの旧石器時代遺跡の調査研究を行う。

2 10月11日(土)

講演テーマ
小松市文化財保存活用地域計画と文化財を活かしたまちづくりの官民学協働への展望(仮)

講師 公立小松大学国際文化交流学部
国際文化交流学科 学科長/
次世代考古学研究センター 教授
杓谷 茂樹 Shigeki Shakuya

profile
専門は文化人類学、観光人類学。中部大学国際関係学部国際学科教授などを経て2018年より現職。メキシコのチチェン・イツァ遺跡などのマヤ文明遺跡公園を対象にした観光研究を行う。小松市文化財保存活用地域計画策定協議会委員を務めた。

3 10月25日(土)

講演テーマ
小松の石文化と九谷焼

講師 公立小松大学国際文化交流学部 国際文化交流学科/
次世代考古学研究センター 教授
中子 富貴子 Fukiko Nakako

profile
専門は観光、観光社会学。2018年公立小松大学国際文化交流学部国際文化交流学科 准教授などを経て2022年より現職。特に多様な人の旅行を可能にするバリアフリー(ユニバーサル)ツーリズムをキーワードにした観光研究に取り組む。

4 11月1日(土)(予定)

講演テーマ
小松を物語る石文化 未来への継承に向けて

講師 公立小松大学国際文化交流学部 国際文化交流学科/
次世代考古学研究センター 准教授
朝倉 由希 Yuki Asakura

profile
専門は文化政策。2009年東京藝術大学アートリエゾンセンター学術研究員、2017年文化庁地域文化創生本部総括・政策研究グループ研究官などを経て2021年より現職。文化政策の予算や仕組み、文化の役割や位置づけなど諸外国の比較研究を行う。

4 New 市民公開フォーラム2025 能登半島地震と福祉のまちづくり

申し込みはこちら »

日本福祉のまちづくり学会第28回全国大会in小松が公立小松大学中央キャンパスで開催されます。本フォーラムでは能登半島地震と福祉のまちづくりをテーマに、持続可能な社会構築のために必要な取り組みを提案します。

開催日時 9月27日(土) 1回 15:00-17:00
会場 中央キャンパス
募集人数 50人
申込締切 9月中旬

講演テーマ
震災と医療支援の医史学

講師 公立小松大学 学長
山本 博 Hiroshi Yamamoto

profile
1949年石川県小松市生まれ。(1)関東大震災―災害時チーム医療の先駆、(2)空襲と大地震―福井県民の立ち直りと記憶遺産、(3)災害関連死のコンセプトを生んだ阪神・淡路大震災、(4)東日本大震災―「来るはずの患者が来ない」戦慄の3.11、(5)能登半島地震と大雨―さらなる学び、ほか震災時医療支援の来し方と行く末を考える。

講演テーマ
要配慮者の避難生活の実態と今後の備え

講師 東北福祉大学総合マネジメント学部 教授
石塚 裕子 Yuko Ishizuka

profile
専門はまちづくり、バリアフリー計画学。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士、技術士(都市および地方計画)。一般社団法人日本福祉のまちづくり学会副会長。著書に『誰もが〈助かる〉社会－まちづくりに織り込む防災・減災』。

講演テーマ
日本の地方地域における自動運転の現状と課題

講師 一般財団法人日本自動車研究所 所長
鎌田 実 Minoru Kamata

profile
専門は車両工学、福祉工学、ジェロントロジー。1987年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学工学部助教授、教授などを経て2020年同大学名誉教授、現職。国交省交通政策審議会委員、経産省自動走行ビジネス検討会座長などを歴任。

講演テーマ
R6年能登半島地震の概要と道路・公共交通の現状(案)

講師 公立小松大学 教授
髙山 純一 Jun-ichi Takayama

profile
1954年石川県金沢市生まれ。金沢大学工学部土木工学科卒業、同大学大学院工学研究科修士課程修了、京都大学にて工学博士号を取得。金沢大学にて助教授、教授を歴任し、学類長を務める。2022年より現職。2019年国土交通大臣表彰受賞。

5 市民公開フォーラム2025 スポーツ医学・工学・ツーリズム

申し込みはこちら »

スポーツ医学・工学・ツーリズムについて、3学部の教員が、分かりやすく解説し、スポーツの将来を展望します。開学時から毎年開催しており、人気のある市民公開講座です。

開催日時 11月22日(土) 1回 14:00-16:00
会場 中央第2キャンパス
募集人数 100人
申込締切 11月上旬

講演テーマ
高性能ピッチングマシンの研究開発

講師 公立小松大学生産システム科学部 生産システム科学科 学科長/
スポーツ工学
酒井 忍 Shinobu Sakai

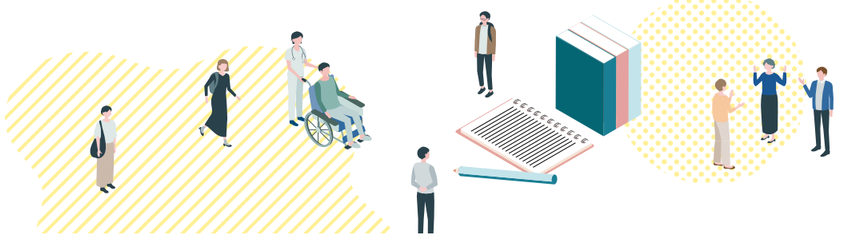
profile
専門はスポーツ工学、機械設計。1988年金沢大学工学部助手、2018年当学教授、2022年より現職。ピッチングマシン、バドミントンマシン、卓球マシン等のスポーツ用練習マシンの研究開発に従事。博士(工学)、技術士(機械部門)。日本機械学会フェロー。

講演テーマ
マラソン大会と地域活性化：スポーツツーリズムの可能性

講師 公立小松大学国際文化交流学部 国際文化交流学科 准教授/
スポーツツーリズム
陳 慶光 Chin-Kuang Chen

profile
専門はスポーツツーリズム。マラソン大会を通じた地域活性化や観光振興に関する研究を行う。自身もランナーとして国内外の大会に参加し、スポーツを通じた交流や地域の魅力を体感。研究者とランナーの双方の視点からスポーツツーリズムの可能性を探る。

講演テーマ
運動・スポーツによる健康づくりで大切な「さじ加減」について －スポーツ医学・栄養学・心理学の視点から－

講師 公立小松大学 学長補佐／
スポーツ医学
髙木 祐介 Yusuke Takagi

profile
静岡県浜松市生まれ。東京学芸大学卒業。広島大学大学院、川崎医療福祉大学大学院、日本学術振興会特別研究員を経て現職。博士号(健康科学)、公認心理師、教員免許(保健体育・社会・家庭)を保有。研究テーマは身体活動時にみられる喘息発作・熱中症・自覚症状や急性高山病等の予防、アスリートへの食育指導、健康心理相談。